



武藏野市議会議員

山本ひとみ

活動報告

民主主義は止まらない！

2016年が始まりました。昨年9月19日に安保関連法制・いわゆる戦争法案が強行採決されました。立憲主義を踏みにじる政府の手法を多くの国民が目撃し、廃案の声が、国会を動かしました。私も若者の「民主主義って何だ！」というコールに心を揺さぶられ、希望を感じた一人です。民主主義は止まらない！今年は参議院選挙。私たちの民主主義が問われます。大きな組織・既存の権威に寄りかからず、前に進んでいきましょう。



戦争法案廃案を求める人々が国会前を埋め尽くした。

シリア空爆を強化する有志連合と距離を置き 日本独自の平和外交を！

●昨年11月13日にパリで、武装勢力による市民への同時襲撃事件が発生し、129人の市民が殺害されました。亡くなつた方に心から哀悼の意を表明します。この事件は「イスラム国」ISによるものと報道され、フランスはただちにシリア空爆を実行しました。空爆によって非戦闘員の多くの子どもや市民が亡くなっています。

振り返れば、アメリカは「テロとの戦い」を訴え、アフガニスタンを攻撃し、イラク戦争を始めました。イラクでフセイン政権が倒れ、その後の混乱の中でISが生まれ勢力が拡大しました。

●戦争法制を成立させた日本が、アメリカやフランスなどの空爆に具体的に協力することになれば、ISから見て、有志連合の一翼を担う存在でありテロの標的とされる可能性があります。

市民の安全を守るためにも、日本は米仏など有志連合とは距離を置き、戦争法は廃止することが必要です。これまで中東地域において植民地支配をせず、武力行使をしなかつた日本の立場を活かした独自の外交をすべきです。

●武藏野市議会で、戦争法案廃案を求める意見書に賛成した超党派の市議会議員14名は、法案成立後も街頭宣伝を継続し、11月20日には講演会も行いました。これからも戦争法廃止のため行動を続けます。



「戦争法いらない武藏野市議の会」主催の伊勢崎賢治さん講演会に100人が参加。

9月議会で、辺野古新基地建設強行に反対する意見書を可決しました！

9月議会で市民団体から「辺野古新基地建設を強行せず、地方自治の尊重を政府に求める」陳情が提出されました。その内容は以下のとおりです。

●日本全土の0.6%の面積しかない沖縄に、在日米軍の専用施設の74%が集中している。

●米軍機の墜落や繰り返し発生する米兵の女性に対する暴行事件など、沖縄県民は米軍基地に苦しめられ続けられている。

●昨年の知事選挙や衆議院選挙の民意を踏みにじって、辺野古新基地建設を強行することは、地方自治の侵害といわざるを得ない。

結果は、自由民主市民クラブの7名の議員のみ反対で、賛成18人：反対7人という大差での可決で、政府に意見書が

送付されました。ところが、この意見書の撤回を求める請願が12月議会に提出されました。請願に賛成したのは自由民主市民クラブの7人の議員だけで否決されました。

政府は行政不服審査法を悪用して、基地建設のための「埋め立て承認」を取り消した沖縄県知事を訴えるなど、法治主義の基本が揺らいでいます。沖縄と手を結んで、武藏野市でも「新基地NO！」の声を広げていきましょう。

原発事故避難者に安定した住まいと生活を！

福島へ帰還できない住民への支援策の充実を

福島第一原発の事故によって約115000人の住民が住み慣れた故郷を離れました。武藏野市では、2015年5月末で、福島県からの避難者55世帯124名がお住まいです。

●政府は、避難指示区域の解除の方針を打ち出し、すでにいくつもの地域で帰還が始まっています。今後、南相馬市・葛尾村なども解除が計画されています。



住居前にはフレコンバッグの山が。

私は、昨年11月8日、福島県富岡町の居住制限区域を訪問しました。住宅の除染が進められていますが、廃棄物が詰まった黒い袋（フレコンバッグ）は敷地内や塀の脇に置かれたまま。これが、海岸沿いなどに何段もつみあがっています。果たして、避難指示を解除して、若い人も帰り、コミュニティが再生できるのでしょうか。

●一方、避難指示を受けず避難した「自主避難者」に対しては、福島県が避難先の住宅の無償提供を2017年3月末で終了する方針を決定しました。母子避難の世帯も多く、住宅の無償提供は生活の命綱です。このままでは多くの避難者が貧困状態に陥ります。

私は避難者団体と一緒に、避難先に住み続けるための支援を福島県に要望する署名を集めました。

●原発事故避難者は、引越ししたくてふるさとを離れたのではありません。住まい・子どもの健康など課題は山積みであり、政府はしっかりと支えていく政策を実施すべきです。

【事務所】 〒180-0023 武藏野市境南町2-23-6
ニューオリエントビル203

TEL 0422-30-5364 FAX 0422-30-5374
携帯 090-1212-8411

Eメール yhitomi815@gmail.com
Blog http://yhitomi815.blog.fc2.com/
twitter @hitomi_yamamot



1月から、マイナンバー制度実施!! 個人番号カード取得は必要でしょうか?

●今、武蔵野市民にもマイナンバーの通知カードが届けられています。1月から、社会保障・税・災害対策の3分野でマイナンバーの利用が開始されます。

政府は、この制度で税や福祉などの申請時に手続きがスムーズになる、所得を正確に把握することで社会保障や税負担の公平化が図られると説明してきました。

●しかし、マイナンバーは、所得や年金・雇用保険の給付状況など重要な情報を扱い、民間事業者も使用するので、情報管理の点でリスクが高まります。

また、税金を徴収する側では、これまで把握しきれなかった副業やアルバイトも含め税金をしっかり徴収できることがメリットとされていますが、大企業や富裕層を優遇している現在の税制の下では、一般国民の所得を洗いざらい国家が管理できることであり、決して公平とは言えません。

さらに、先の国会では、預貯金口座・健康診断情報・予防接種履歴などとの結び付けを可能とするマイナンバー法の改正法案が成立しました。資産や健康状態などの情報は、他人に知られたくない、究極の個人情報です。

こうした中で、番号の漏洩が起ければ、様々な個人情報が引き出される可能性をもたらします。私は、マイナンバー制度の実施は見合せ、適用範囲の拡大はすべきでないと考えています。

●市民の皆さんには、個人番号カードは申請を控えてくださいと訴えます。

個人番号カードの申請は希望者のみです。申し込まなくても罰則はありません。また、通知カードを受け取らず自分のナンバーを知らない人が、市役所の窓口で不利な扱いを受けないことも、市議会の審議で明らかになっています。

個人番号カード裏面にはマイナンバーそのものが記載されています。カードを携帯していれば、落としたり、盗難にあうなどで、情報が悪用される恐れがあります。政府の動きを注視するとともに、個人での対応も考えていただきたいと思います。

増え続ける保育園入園希望者 待機児ゼロの実現を!

●4月入所の第1次の受付が昨年11月16日に締め切られました。12月議会の一般質問で、保育園の年齢別の定員と申し込み者の数を伺い、以下の状況がわかりました。

定員の合計は549人。申し込みの数は1159人で、前年より141人増加しています。希望した認可園に入れない610人の方は、認証保育所への入所などを選択する世帯もあると思いますが、待機児が

2015年4月の127名から増えるのではないかと心配です。

また、条件があれば、保育園に子どもを預けて働きたいと考える母親は多く、「現状だと、保育園に入れそうにないから、申し込みない」「幼稚園預けてその範囲で働くしかない」など、潜在的な保育園入園希望の方が多数いることを実感してい



必要??

ます。

●「来年4月での待機児ゼロの見通しはどうか」との私の質問に、市長は「1年間で200名定員を増やしてきたが、むずかしい」との答え。

保育園の増設に努めていることは理解していますが、思い切った対応をしっかりとるよう要望していきます。

●保育園の問題では、9月議会の一般質問で、保育内容の低下を招かない取り組みと市の東部地区での保育園の充足が低いのではないかなどを取り上げ、12月議会では、認証保育所と認可保育園の保育料の差額助成制度の実情と0歳から2歳の子どもが対象の小規模保育所が増えたことによる、3歳になったときの預け先の確保～「3歳の壁」～を質問しました。



4月開設をめざし建設中の(仮称)
武蔵境コスモ保育園(境1丁目)

桜堤児童館の2階の機能復旧を 子育て支援施設は、旧桜堤小学校跡地活用を

児童館は、学区に関わりなく、親も子も一緒に利用でき、中学生・高校生になっても利用できる施設であり、子育てに悩む家庭にとっては大きなサポートの場です。

●**桜堤児童館は、一昨年11月、年度末で閉館する方針を市が出したことに対し、多くの利用者が閉館見送りの声を上げて、存続が決定しました。**2階は保育園ですが、保育園児がお昼寝のときに、1階を利用する子どもに大きな声を出さないように声をかける利用者がいたり、「児童館の利用者と保育園の利用者の間でいがみ合うような関係になることはやめてほしい」との意見がでています。

そこで、12月議会の一般質問で、「緊急待機児対策としての保育園の利用は、別の場所での受け皿を用意することが必要ではないか」と伺いましたが、市長は「現施設の利用を考えていきたい」との答弁。児童館2階の機能復旧を求める署名も1172筆が提出されています。利用者の声を受け止めた早期の対応を求めます。

●そもそも西部地域では大型マンション建設が相次ぎ、子どもの数が急増しています。9月議会の一般質問で伺ったところ、**桜堤地域の12歳以下の人口は「平成22年1月1日現在781人だったものが、平成27年1月1日で1460人に増えた」と市長から報告がありました。**

9月と12月議会で、保育園・学童クラブなど**必要な子育て支援施設を、10266m²ある旧桜堤小学校跡地の一部に、建設してはどうか**と提案しました。市は、当面の桜野小学校の第2校庭的な利用と将来の運動広場の整備という方向を現時点で変えていませんが、市の保有する土地の有効活用でもあり、ぜひこの場所も選択肢とするよう、訴えてまいります。



多くの親子に親しまれている
桜堤児童館

